

『子育てに安心と信頼を届けて』

…マニユアルはいらない。愛情があればいい…



市民が作る
市民編集
のページVol.67

小さな子どもは体調を崩しがち。保育所などからの急なお迎え依頼の電話に悩んだ経験はありませんか。夏休みを間近に控え、子どもたちを体験教室やプール、塾などに参加させたいのに、送迎が必要のため、あきらめていますか。そんな時、手助けしてくれるのがファミリー・サポート・センター。今年6年目を迎える同センターの活動について話を聞きました。

問い合わせは
同センター ☎2300-6007

会員は3種類

会員には「預ける人」「預かる人」「どちらも行方」の3種類があります。

●おねがい会員とは

生後3カ月以上の乳幼児から小学6年までの子どもの援助を依頼する人

●まかせて会員とは

心身とも健康で、自宅で子どもを預かれる人。資格・経験は問わず、子育てを通じて社会参加したい人

●どっちも会員とは

おねがい会員とまかせて会員の両方兼ねている人

現在の会員総数は約1,100人。8割がおねがい会員、残りの2割がまかせて会員です。

また、両方を兼ねているどっちも会員は1割弱。おねがい会員が圧倒的に多いのは、安心のために入会している人も多く、全員が依頼している訳ではないということです。

利用するには登録が必要

最初に会員登録が必要です。登録後、依頼内容や地域を考慮してアドバイザーが最適なまかせて会員を選びます。その後、事前に預ける側の家族とまかせて会員が打ち合わせを行います。

「依頼内容の確認とともにお互いを理解し、預けられるお子さんとまかせて会員さんが親しくなってもらうことで安心して預けられるようにすることが狙いです」とアドバイザーの大野さん。預かる側も不安や疑問がないようアドバイ

ザーのサポートを受けながら援助を行っています。

援助活動のながれ

- ①会員から電話で援助の依頼
- ②アドバイザーが依頼内容や地域を考慮して最適なまかせて会員を選び、援助を打診
- ③お子さんと一緒に細かい事前打ち合わせを行う
- ④まかせて会員は援助活動終了後、活動報告書に記入し、おねがい会員に確認してもらう
- ⑤おねがい会員は報酬金（1時間あたり700円〜800円）をまかせて会員に直接支払う

実際の援助が多かったのは、今年の4月では幼稚園・保育所などの迎えや帰宅後の預かり、子どもの習い事のための援助など約400件の依頼があったそうです。

仕事と子育てを両立させるには

「初めて会う人に子どもを預けるのは不安があると考え、どんな風に対応しているのだろう」「逆に自分が預かることを考えたとき、預かる側にはどんな人がなるのだろう」という疑問から、まかせて会員やアドバイザーの話を聞きま

まかせて会員の声・青木歳子さん

「子育てが一段落。仕事も気持ちも余裕ができて、自分のために時間に使うのではなく、

人のために役に立ちたいと考えました。それが応募のきっかけです」とお話をいただきました。これからまかせて会員になってみようと思っている人に一言お願いすると、「まかせて会員になるには難しいこともマニユアルもありません。子どもをかわいと思う気持ち、愛情があれば十分だと思います」と言うアドバイザーをいただき、こちらが思わず感謝してしまうような気持ちになりました。

アドバイザーの声・大野早苗さん

今のお母さんは仕事や家事、育児と本当に忙しい。余裕をもって子どもたちに接することができ、温かい目で見守ってくれる人が必要です。まかせて会員さんになっても、初めは不安がつきもの、送迎などの簡単な援助から始めて慣れていくのがお薦めです。

まずは一歩踏み出して、講習を受け、相談しながら自分のできそうな援助から始めてください。

編集 後記

会員間にはどんなつながりがあるのか、まかせて会員になる人はどんな人たちなのかという疑問からスタートした取材。生き生きとした「まかせて会員の青木さん」のお話しにこの活動の意義深さと素晴らしさを感じました。まかせて会員が増えることを願っています。

まかせて会員
青木 歳子さん



アドバイザー
大野 早苗さん



6月21日に行われた
会員交流会

